

幼児や児童が被害者となるような重大な交通事故が発生しています。

通学路で児童の列に自動車が出っ込んだり、暴走した自動車に幼児が巻き込まれたり、子どもが犠牲になる

交通死亡事故

が後を絶ちま

せん。その一

因として高齢運転者によるものやスマホなどの「ながら運転」が挙げられます。当然、これらの事故原因をなくすことは非常に重要です。

一方、このような悲惨な事故が起

きやすい道路環境について今一度、地域の皆様で点検して対策を考える必要があります。すぐに改善できるところは即改善。それが難しい場合は、その場所を通行しないことです。

## 道路の安全は地域で守る

国は危険箇所

の見直しを実施していますが、危

険な場所を一番よく知っているのは地域に住んでいる人たちです。地域で声を上げ、誰もが安全に生活できる環境をつくりましょう。



交通安全三日月